



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

Weekly Report

2014～2015 年度会長方針「伝統と変革、より良いクラブを築こう」

創立/1986年2月19日 (会長)渡邊 裕之 (副会長)村山 圭治 (幹事)櫛田 隆治
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1362 回例会

2014 年 12 月 10 日

本日のプログラム

例 会 12:30 ~ 13:30
ホームミーティング報告
(各グループリーダー)
委員会活動の上期報告

次回のプログラム

年次総会 (次年度役員理事決定)
忘年夜間移動例会 (家族会)
受 付 17:00
点 鐘 17:30

🎵 今月のソングリーダー 渡邊 裕之会長 🎵

前回の例会報告 2014 年 12 月 3 日

会 長 報 告

①地区ガバナーより、当地区ガバナー指名委員会は RI 細則第13条に従って、東京新都心ロータリークラブ会員 吉田雅俊君を2017-2018年度当地区ガバナー (ガバナーノミニーデジグネート) の候補者に指名いたしましたので、ここに公表いたします。

尚、一定期間内 (14日以内/12月5日まで) に対抗候補者の提出が無い限り、指名委員会の指名通りに確定することとなります。

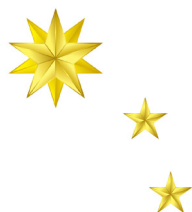
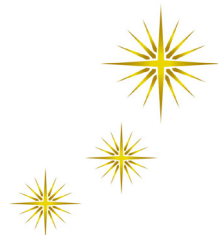
②北分区ガバナー補佐より、北分区 IM・合同例会参加に対しての礼状がきております。

③次年度理事候補者の公示について・・・村山会長エレクトより次年度理事候補者の推薦がございましたので発表いたします。

理事 職業奉仕委員長 櫛田隆治 (くしだ たかはる) 会員立候補締切日までに立候補者のなかった役職については、その時点で当選したものとして17日の年次総会において正式決定いたします。

④米山記念奨学会へご寄付をされました新倉会員へ米山功労者第9回マルチプルの感謝状が届いておりますのでお渡し致します。

⑤バギオ基金へご寄付をされました3名の方に、新倉会員へ第8回感謝状と領収書、滝澤会員へ第4回感謝状と領収書、村中会員へ御礼状と領収書が届いておりますのでお渡し致します。



幹 事 報 告

○12月と来年1月当初のスケジュールについてお知らせします。

- ・12月10日はクラブフォーラムで、ホームミーティングの結果をリーダーの皆さんにご報告いただきます。また、委員会上期活動で特に報告の必要がある委員会は幹事までお寄せ下さい。
- ・17日の夜間例会・家族会は17時受付、17時30分開会点鐘、家族会は18時から開始して20時15分頃に閉会の予定です。例会の中で総会を開催し、来年度役員の紹介後、ご承認をいただきます。家族会では、吉田親睦委員長のご手配でオペラとダンスショーを楽しんでいただく予定です。
- ・24日は特別休会です。
- ・1月7日は、10月15日鈴木名誉会員お祝い会の振替による特別休会です。
- ・14日が新年最初の例会です。

○全国RYLA研究会より第7回ロータリー全国RYLA研究会開催のご案内が届いております。開催日は3月22日です。関心のある会員は登録をお申し込みください。

○池袋RCより親睦ワインの会が1月21日「日本

橋たいめいけん」で開催されるとのご案内が来ております。

■ビジター

池袋西RC

安達 政弘様

池袋RC

榎本 稔様

■出席報告

会 員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	11月19日分 修正出席率
33 名	29 名	25 名	4 名	86.21%	89.66%



ビアンカさん

榎田幹事で夫妻に京都を案内していただきました。

2014年12月3日（水）

第6回定例理事会 議事録

○会長挨拶

今月は総会と夜間例会・家族会がありますので、引き続き役員皆様のご協力によりクラブ運営をしていきたいのでよろしく願いいたします。

○11月度の会計報告があり、了承されました。ほぼ計画通りの進捗です。

○12月のスケジュール

- ・10日は、クラブフォーラムです。ホームミーティングの実施状況について、グループリーダーからの報告と委員会活動上期の報告を予定しております。
- ・17日は、夜間例会・家族会です。
- ・24日は、特別休会です。
- ・来年1月のスケジュールの概要は以下のとおりです。
 - 1月7日は特別休会です。
 - 1月14日が新年最初の例会になります。
 - 1月28日は、池袋RCとの合同例会で、当クラブがホストです。

○12月17日開催の忘年夜間例会・家族会

- ・受付17時、例会点鐘17時30分、例会の中で総会を開催して来年度役員の紹介と承認をいただく予定です。
- ・家族会（懇親会）は、吉田親睦委員長のお世話で準備が行われており、1両日中にも会員へご案内し、出欠を確認する予定です。オペラとダンスショーを楽しんでいただくよう準備しております。閉会は20時15分頃の予定です。

○1月28日池袋RCとの合同例会では、立教大学の渡邊教授の卓話を予定しています。内容が決まり次第、池袋RCへも連絡する予定です。

○創立29周年夜間例会の開催日2月18日は、地区大会開催の翌日でもあることから、ホテルの都合を確認した上で日程変更を検討することにしました（2月25日の方向で検討中）。創立記念例会ですので、池袋RCへご案内する予定です。

○地区から2015/16年度の国際奉仕副委員長又はR財団委員の推薦を求められていますので、会員の皆様へお願い（募集）する予定です。

○その他

- (1)例会後のコーヒープレイクについて、会員から提案があったので、検討します。
- (2)西島貞枝会員から、体調が不良なことから12月末日をもって退会したいとの届出が提出されました。渡邊会長自らがご自宅を訪問して慰留に努めましたが、外出が困難ということから止むを得ないとの報告があり、協議の結果、退会が承認されました。なお、退会に当たって、多額のニコニコが寄せられました。
- (3)台北東海RCの20周年記念例会について廣内前会長から報告がありました。4月23日前夜祭、24日午前記念ゴルフ大会、記念例会（ウエスティンホテル）が計画されているとのことでした。
- (4)交換留学生ビアンカ・ヤナギモリさんの1月以降のホストファミリーについて、地区のご配慮により他クラブで2ヶ月間程度担当していただけるとの連絡がありました。その後のホストファミリーは当クラブで担当する必要があるので、再度会員へお願いすることにしました。
- (5)池袋RCワイン同好会より1月21日開催親睦ワイン会のご案内がありました。

会長卓話

渡邊 裕之会長

本日大変残念なお知らせがあります。先日、西島会員からケガにより歩く事が困難な事による退会の申し出があり、長時間、電話で説得を致したのですが埒が明かない状況で、自宅におじゃまをして退会理由と、ケガの状態を拝見しにまいりました。

半月板損傷で、来年二月にも、手術を受ける予定との事でした。

歩く事もままならない状態で、手術に備えなければならない事もあり退会をさせて頂きたいとの事で退会届けとニコニコを預かり帰ってまいりました。

本日の理事会で正式に承認をされましたので、ここに発表を致します。

入会後、三年三ヶ月のクラブ活動の中で会員の方々に大変お世話になった事を御礼申し上げまして代読をさせていただきます。

ロータリーの友の横書き42Pに小さくなったクラブの規模という記事が載っております。第二次世界大戦中、国際ロータリーからの脱会を余儀なくされておりました日本のロータリーが、1949年に復帰して以来、ロータリアンの数はどんどん増えていきました。

日本のクラブが無くなる事はない、日本のロータリアンの数が減る事はないとロータリアンは信じて疑うことがなかったのですが、1996年12月末から会員数は減っていくものの、クラブの数は増え続け、現在のクラブの会員増強が伸び悩んでいる状況を、新しいクラブを作って会員を勧誘すれば改善をはかれると思っていた様です。

今年7月末のロータリアンの数は8万7972人、この人数はちょうど1983年7月末の8万8410人で現在に近い数字で、今から30年前の数字に等しいです。現在よりも、ロータリーの可能性、ロータリーの発展を信じて、現在よりももっともっと元気の良い時代でした。日本のロータリアンはピーク会員数13万人というはるかに多くの会員数を経験しました。

もっとふんだんに資金を使って、いろいろな活動をする事を知ったのです。

一度、広げてしまった活動を縮小する事はとても難しい事です。

やれる活動に限定をして経費を抑える事に成功したとしても一抹の寂しさが残ってしまうかもしれません。

今年7月のクラブの数は2276クラブですが、30年前の1986年には1588クラブでした。クラブ数がそれだけ増えたという事は、1クラブ当たりの会員数が減った事を意味します。

現在1クラブの平均会員数は39.5人ですが30年前は55.7人でした。

現在10人以下のクラブが79クラブ、11人～20人のクラブが386クラブ、20人以下のクラブが20.5%で、全体の5分の1にあたります。

反対に101人以上のクラブは現在46クラブ、全体の2%に対して、1983年当時は78クラブ4.9%です。

クラブの適正規模がどれぐらいかは、クラブの事情によって異なりますが、20人以下のクラブの割合が当時の14倍になっている事、この事こそが今日本のロータリアン達が元気を失っている最も大きな理由なのではないかと思います。

会員数が10人、20人でも素晴らしい活動をしているクラブもたくさんあります。だからといって、増強したからといって短期間でそのクラブが50人になる事は難しいと思います。

今月は家族月間ですが、ロータリークラブの奉仕活動に配偶者や子ども達、孫達が参加すれば20人、30人の人手が確保できると思います。

ゲーリーホアンRI会長が述べている通り、家族が参加をしてロータリーの輪を広げ、ロータリーの実行をしよう。この事がよりロータリークラブが強固な物になっていくと思います。

会員減少、奉仕活動の限界等は当クラブの事だけではなく日本のロータリークラブ全体の悩みだと知り少し元気が出ました。

ニコニコ BOX

前川会員／先週、日本中のパストガバナー、ガバナー、ガバナーエレクトが参加するロータリー研究会が行われ、RI会長御夫妻も臨席されました。私はお二人のエイドを申しつけられ、「お車代」が出ましたので、ニコニコいたします。

西島会員／入会以来、丸3年3カ月いろいろな経験をさせて頂き、皆様には、大変お世話になりました事、御礼申し上げます。

廣内会員／ACグループホームミーティングの残金をにこにこに。

2014年11月

RI会長からのメッセージ

ロータリーの友情と奉仕に輝きを

親愛なるロータリアンの皆さん、「ロータリーに輝きを」に努める年度も4か月が過ぎ、私は今まで以上にロータリーを楽しんでいます。22か国の、数十もの都市を訪れ、何千人ものロータリアンに会いました。見事なプロジェクトを目にし、ロータリアンたちが世界のあらゆるところで行っている素晴らしい活動に、繰り返し、繰り返し刺激を受けました。また、私はクラブの例会からロータリー研究会に至るまで、ロータリーデーから財団の晩餐会に至るまで、ロータリーのさまざまな行事に出席する機会に恵まれています。

どれも忘れることのできないイベントですが、特に光栄に思うのはクラブのお祝いの席に招かれた時です。私にとって、国際ロータリー（RI）の会長としてロータリークラブの祝賀会に出席することは、賓客として家族のイベントに招待されたようなものです。実際、ロータリーは世界で最も大き

な家族です。

ロータリーは奉仕と友情から成り立つ建物

ロータリーは奉仕から成り立っていると言えます。一つひとつのプロジェクトというレンガから成る大きな建物、それがロータリーなのです。私たちの奉仕をレンガとするなら、レンガ同士をつなげるモルタルが友情であることに疑いはありません。このようなことを私は日々経験していますが、創立100周年を迎えたロータリークラブの祝賀イベントほどそれが顕著になる場はありません。

創立110周年の年に国際ロータリーの会長になり、このようなイベントに参加することができて、私は幸運でした。長年、奉仕を実践しているクラブを訪れた時、その秘訣を知りたくなるのは当然のことです。なぜならば、長年奉仕を実践しているクラブは、とても建設的なクラブであると注目していたからです。彼らは大きいです。彼らは活動的です。そして彼らは素晴らしい活動をしています。それだけでなく、活動することで素晴らしい時間を過ごして

います。

生活に輝きを与えるロータリーの友情

もちろん、それが彼らの秘訣です。ロータリーには、強い友情と素晴らしい奉仕とが密接な関係にあります。活動が楽しければ、活動をしたくなります。さらに熱心に、より良い活動がしたくなります。私たちはロータリーの会合を楽しみにしています。たとえ忙しくてもロータリーを優先します。なぜならば、友達に会いたいためから。そして奉仕をしたいから。

109年以上たった今もロータリーがあるのは、そんな理由からです。

如果人生没有朋友就等於没有太陽

友のいない生活は、太陽のない生活のようなものである。

ロータリーの友情は、私たちの人生に輝きを与えます。そして、奉仕と同様、ロータリーの友情は、「ロータリーに輝きを」与えるものなのです。

2014年12月

親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーカレンダーを調べると、組織として私たちがどこに優先事項を置いているのか一目了然です。ロータリー年度は7月に始まり、8月は会員増強に留意し、9月に新世代を祝い、10月は職業奉仕のための月、などというように、ロータリーにとって重要な異なった話題に私たちの注意を向けるのです。

これは、素晴らしいアイデアです。慌ただしく過ぎ去っていくロータリー年度で見過ごしてしまうであろう課題について話し合うことを思い起こさせてくれるからです。しかし、親睦から私たちの財団に至るまで、ロータリーのカレンダーにある一つひとつが大切だということを誰もが知っています。それらすべてがロータリーを形成し、私たちすべてをロータリアンにするパーツなのです。

家族全員ロータリアン

ロータリーでは、12月は家族月間。私のロータリアンとしての月日を振り返ると、ロータリーにおいて、いかに家族が大切なのか、また私たちの家族にとっていかにロータリーが大切なものになり得るのがわかります。

私の妻コリーナは、長年ロータリーの配偶者として過ごし、ほんの数か月前にロータリーへの入会を決めました。3人の子どもたちも、皆ロータリアンです。彼らは自らの時間の中で、自分に合ったクラブに入会しました。彼らはロータリーにそれぞれの関心を見つけました。彼らが自らの道を見つけるのを見守ってきたので、ロータリー家族の多くがロータリーの奉仕に関わっていることが、どれほど素晴らしいことなのかに思いが至ります。

食卓が学びの場になる

ロータリーは私たちが共に良い

ことができる機会を与えてくれます。私たちはいつも、夕食を囲みながら、ロータリーで関心を持っていることについて話題にしています。私の家族は皆、異なる奉仕活動を行い、異なるクラブに所属していますから、席を共にする時は、世界のすべての地域のさまざまな人道的ニーズの話題になります。新たに学ぶことが常にあります。

私たちの会話は、私たちの行動を通して人生で何が大切なのかを子どもたちに教える最上の手段でもあります。彼らは世界のいろいろな地域の生活がどのようなものかを知り、できる時には他の人を支援する義務が自分たちにはあるということを学ぶのです。わが家においてロータリーの奉仕以上の授業はないと思っています。

今のロータリー年度で、皆さんの多くが皆さんの家族にロータリー、そしてローターアクト